

2019年09月29日 緩和救急～自分の人生、どう生きる？～

1. 林 Dr.は面白くて大好きです。いつも刺激をうけます。シビアな現場が明るくなります。ワールドカフェがおもしろかったです。(N.S.さん 50代)
2. 死に方ではなく「生き方」を聞くという言葉が印象に残りました。林先生の話は全て心に残りました。またあれば来たいです。
3. 人生会議が必要、Allow Natural Death コミュニケーション力が大事。(N.A.さん 40代)
4. 現場でかかえている問題はどこも一緒だと感じた。まだまだ緩和救急についての理解は広がっていませんが、少しずつ広められるようにしていきたい。地域と共に学べる環境を考えたいと思った。(50代)
5. 緩和医療に対する認識を改める良い機会となった。(T.S.さん 30歳未満)
6. 救命センターという救命至上の施策で勤務していると、患者の「生き方」を忘れがちになる。どう向き合うかを再考する良い機会となった。
7. DNR に対してずっと疑問を持っていたのですが AND の言葉を知り、少し考え方がわかりました。又、価値感に対する考え方が広がった様です。今、学生と関わる中で、改めて生きることについて考えを深めたいです。(50代)
8. 暗くなりがちな内容を、面白くユーモアあふれる講演にされて、エビエンスもきっちり織り込んでおられて素晴らしいと感じました。(O.T.さん 30代)
9. 初めて聞くことも多くあり、本人自己決定（価値観）、話しあうことで歩みよりたいと思います。有難うございます。(中本哲也さん 40代)
10. 人生会議、価値感是人それぞれ。(H.J.さん 40代)
11. とてもとても勉強になりました。林先生にぜひ私の病院の医師・スタッフに教育をお願いしたいです。(50代)
12. 「死に方」ではなく、「生き方」を話す。A N Dは使います。(●.●. 30代)
13. どう生きるか！！(I.M.さん 50代)
14. 緩和救急という言葉を知りませんでした。現場の先生方の貴重なお話をうかがえてよかったです。自分と親の人生について考えました。(K.M.さん 60代)
15. とても楽しかったです！(40代)
16. 林 Dr.はおもしろいです。緩和のマインドもあってすばらしいです。診療所できるとよいですね。(50代)
17. コミカルですが、耳の痛い話でした。A C L Sをしている救急患者の家族さんと今後の治療方針について話す際は、急いで決定して頂かないといけなないので、非常に酷な事を医療者はしてしまっていると思いました。D N R でも救急搬送されてくる患者に苛立ちを覚えていましたが、意思決定されてる患者の 16%が救急搬送されるというデータを知って意識を変えようと思いました。(西山毅さん 30歳未満)
18. すこし感銘を受けました。又、参加したいです。(●.●.さん 40代)
19. 終活ブームなどがあるが、お墓に入る前の話は意外とタブーにされることが多い。どう死ぬかではなく、どう生きるか。みんなもっと明るく楽しく最期について話しあえる社会になればいいと思う。(K.Y.さん 30代)
20. 講演に参加されている方は意識の高い人であり、A C P の理解がある人が多いと思うが、もっと他の人にも啓発していくことが必要と感じた。(60代)
21. 最近看取りに興味を持ち、緩和救急というテーマにひかれてまいりました。大変わかりやすく、新たな発見ができました。(M.M.さん 50代)